

平成25年度香取市液状化対策検討委員会（第7回）議事要旨録

- ◆日 時 平成25年12月27日（金） 14:00～17:00
- ◆場 所 佐原中央公民館 第3研修室
- ◆出席委員 (委 員) 石原 研而 (委員長) 古関 潤一 (副委員長)
中井 正一 銭谷 秀徳 (中村 徹立委員代理)
林 清一 松下 克也 石井 良典 (敬称略)
(事務局) 香取市
パシフィックコンサルタンツ株式会社

◆議 題

議 事

- (1) 第6回委員会での指摘事項への対応報告
- (2) 追加地質調査
- (3) 液状化の検証
- (4) 再液状化の検討
- (5) 液状化対策工法の検討
- (6) 液状化対策事業計画について

その他

- (1) 今後の予定について

◆配付資料

- 資料-1 委員名簿
- 資料-2 第6回液状化対策検討委員会議事要旨録（案）
- 資料-3 第6回委員会での指摘事項とその対応
- 資料-4 地質調査結果（補足）
- 資料-5 液状化の検証結果
- 資料-6 再液状化の検討結果
- 資料-7 液状化対策工法の検討結果
- 資料-8 液状化対策事業計画について
- 別冊資料-1 液状化強度試験試料のデータ
- 別冊資料-2 PDC試験方法
- 別冊資料-3 「資料-4 地質調査結果（補足）」の詳細データ
- 別冊資料-4 「資料-5 液状化の検証結果」の詳細データ
- 別冊資料-5 「資料-6 再液状化の検討結果」の詳細データ
- 別冊資料-6 「資料-7 液状化対策工法の検討結果」の詳細データ

(1) 第5回委員会での指摘事項への対応報告

事務局より、資料-3を用いて第6回委員会の指摘事項とその対応を報告した。

【主な報告】

- ・ 第6回委員会の指摘事項に対する回答を報告した。

【主な意見・ご質問】

- ・ 今回の解析は一次元は SHAKE・FDEL、二次元の対策工検討は FLUSH、側方流動は FLIP としている。解析手法による違いはある程度許容し、実測との比較で妥当性を判断することでよいか。
(石原委員長)

【回答】 了解した。(事務局)

- ・ 小見川の宅盤の標高差による圧密沈下の影響はどのように考えているか。(古関副委員長)

【回答】 検討の結果、標高差が1m弱であるため標高差による圧密沈下の影響は殆どないと考えており、これによる工法選定が影響されることはない判断した。(事務局)

(2) 追加地質調査

事務局より、資料-4、別冊資料-2、3を用いて追加地質調査について報告した。

【主な報告】

- ・ 追加地質調査結果として、PDC試験の結果などについて報告した。

【主な意見・ご質問】

- ・ PDC試験結果のPL値と液状化判定のPL値で違いがあるのはなぜか。(中井委員)

【回答】 PDC試験に組み込まれている検討地震動が、液状化判定に用いた地震動と異なるため(事務局)

- ・ 結果の違いについては注釈等をつけてもらいたい。(石原委員長)

【回答】 了解した。(事務局)

(3) 液状化の検証結果

事務局より、資料-5、別冊資料-4を用いて液状化の検証結果について報告した。

【主な報告】

- ・ 実測沈下量と計算による沈下量の比較などについて報告した。

【主な意見・ご質問】

- ・ 水郷大橋地区などは特に、解析では実測値ほど沈下が出ていない。実測沈下量は今回の解析では考慮できていない余震による沈下が含まれているため、解析と実測値に差が生じている可能性がある。これらについて、コメントで補足をして欲しい。また、資料-5のP5-3~P5-7は不明確な点もあり、資料からは除いたほうが良い。(石原委員長、古関副委員長)

【回答】 了解した。(事務局)

(4) 再液状化の検討結果

事務局より、資料-6、別冊資料-5を用いて再液状化の検討について報告した。

【主な報告】

- ・ 考慮する地震動に対する液状化の程度について報告した。

【主な意見・ご質問】

- ・ 利根以北では実測沈下量が得られていないため、建物被害の状況との重ねあわせで評価した。比較的被害の大きいところで大きな沈下が発生する結果となった。これらについて、コメントで補足をしておいて欲しい。(石原委員長)

【回答】 了解した。(事務局)

(5) 液状化対策工法の検討結果

- ・ 事務局より、資料－7、別冊資料－6を用いて液状化対策工法、側方流動対策工法の検討結果について報告した。

【主な報告】

- ・ モデル地区における液状化対策および側方流動対策工法の検討のための条件整理、入力値、検討結果について報告した。

【主な意見・ご質問】

- ・ 側方流動対策について、解析では両岸のみの対策で効果が出ているが、液状化の状況を見ると、河床部のAc1層が液状化しないため、変位を抑制していることが考えられる。今回、Ac1層は水郷大橋の事例などから液状化する可能性もあると考えていることから、詳細検討時にはさらに精査を行い、対策工は河床部も実施するのが望ましい。以上をコメントで追記しておいて欲しい。（古関副委員長、石原委員長）

【回答】了解した。（事務局）

その他

(1) 今後の予定について

今後、復興庁と協議を行い、事業計画のほうをある程度精度を上げたときにご指導をいただきたい。（事務局）